



毎日乾いた寒い日が続いています。それでも季節は少しずつ進み 2 月の声が聞こえるようになると、だんだん陽がのびてきている感じがしてきました。それに従って、毎朝バスを降りると、真っ先に前日仕掛けた自分の氷のところを確認に飛んで行った、子供たちの氷へのブームもだんだんと薄らいできているようです。

今、さくら組はペダルローラーをがんばっています。
(バランスをとるのが結構難しいです)



梅一輪 一輪ほどの 暖かさ (服部嵐雪 1654-1707)

育てたものを食べる(食育) -1年の栽培活動をふり返って-

鳩山幼稚園長 岡部 玲子

鳩山幼稚園では、豊かな心を育てる活動の一環として、この一年たくさんの野菜を栽培してきました。ジャガイモ、サツマイモ、一般的な夏野菜(キュウリ、トマト、ピーマン、ナスなど)はもちろん、ポップコーン用のトウモロコシ、ニンジン。そして鳩山うどんや焼きドーナッツに使われている鳩山の特産である黒大豆も栽培してみました。(幼稚園では宇宙由来の黒大豆をまきました。)また、身近ではあるけれど子供たちにはあまり馴染みのないサトイモや長ネギなども作りました。ジャガイモの二毛作(秋ジャガイモ)もやってみました。それから、今年は保護者の皆様も巻き込んでポットラッシュにも挑戦しました。

想定以上にうまくいったものもありますが、なかなか思うように育たなかった野菜もありました。(私は、自然を相手にしているのだからうまくいかないこともあることを、子供たちが実感することも大切な教育だと思っています。)昨年は、ほぼ一切と言ってよい程園内で食することはしませんでした。今年は町内の小学校や感染症の減少状況を見て、衛生管理を徹底し十分に加熱し時間を置かず、黒大豆の枝豆やグリルしたサツマイモ、また、ポップコーンも試食しました。子供たちは自分たちで種をまいたり苗を植えたりした野菜を、時々畑の様子を見に行き育っていく様子を実感しました。そして、育ったイモを泥んこになりながら掘ったり、からからになったトウモロコシを取って実を外したりしました。そうして自分たちで栽培に関わった収穫物を友達と一緒に食べることが出来たのは、多くの子供たちにとって喜びにつながり、栽培物に対する関心へと繋がりました。

さらに、夏野菜は収穫できたものから順番に子供たちが持って帰り、ジャガイモとサツマイモは掘ったその日に子供たちが持って帰りました。サトイモ、秋ジャガイモ、長ネギ、ポップコーン用のトウモロコシ、テーブルビーツは園行事の際、保護者の皆さんが持ち帰り各家庭で調理して食してもらいました。

一つの種イモ、一本の苗、一粒の種からたくさんの作物が出来、おいしく食べることが出来た成功体験ばかりでなく、野菜のとげが痛いこと、トウモロコシの実を外すのは指先の力があること、突然枯れてしまったこと、虫やカラスの害、プランターだとちっちゃいニンジンしかできなかったこと。うまくいかなかった体験もたくさんありましたが、それも含め全てが栽培活動の成果だと思っています。そして、自分たちが関わった野菜を園や家で食べる。そこからそれぞれの子供に大なり小なり何かの“思い”が芽生え、それが食育に繋がり、やがて“豊かな心”が育ってくると考えています。今後も、鳩山幼稚園の特色ある教育活動の一つである栽培活動を続けていきたと考えていますし、保護者の皆様のご協力も引き続きお願いしたいと思っています。

今、幼稚園のプランターでは子供たちが大好きな絵本『そらまめくんシリーズ』の主人公の“そらまめくん”にちなんで、本物の「ソラマメ」をさくら組が育てています。うまくいけば5月過ぎに初夏の味が楽しめます。



冬のこの時期のソラマメはだいたい10cmから20cmだと
無事冬越しできるそうです。

15cm位、順調です。

活動の流れ〈2月〉



時 期	さくら 組	に じ 組
2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 作った鬼のお面をつけて節分の行事に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作った鬼をかぶって節分の行事に参加する。 アルバム用の寄せ書きのために自分の名前を書く練習する。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> おひな様を作る。 「頑張りカード」を使って鉄棒・うんてい・長縄跳びに挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドッジボールや引越し鬼をして遊ぶ。短縄跳びに挑戦する。
下旬	<ul style="list-style-type: none"> 板に釘を打って、迷路を作る。 お別れ園外保育で亀井方面に行く。 にじ組へのプレゼントを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> おひな様を作る。 卒園式の会場に飾る等身大の絵を描く。 お別れ園外保育で亀井方面に行く。 卒園式の練習をする。



世の中は相変わらずの新型コロナ感染症罹患者の人数のカウントから始まる毎日のニュースのため息が出ますし、様々な制約が課される日々にもため息が出ます。園では感染対策をしっかりとしながら工夫して行事を進めています、本当に早く日常に戻ることを願うばかりです。

<ピジョッコファーム通信> 「毎日先生方の協力でいろいろな体験ができていることに感謝しています」という言葉もいただきました。

*** 保護者の皆さんに野菜持ち帰りの際〈ひとこと感想〉をお願いしたところ、9名の方が提出してくれましたので紹介します。**

- ・サトイモはお雑煮、秋ジャガイモと長ネギはお鍋に、ピーツはピクルスにして美味しくいただきました。食べる際に、「このおイモは幼稚園でもらったやつだよー!」「そうなのー!」と話しながら子供たちと食べました。
- ・サトイモとジャガイモは豚汁でいただきました。柔らかくて美味しかったです。ネギは子供には辛かったようですが、「幼稚園でとれた野菜」というのは何かと特別な野菜のように思えるようでいつも喜んで食べています。
- ・秋ジャガイモというのは初めて聞いたのですが、色が赤っぽくて何か不思議な感じでしたが、ほくほくしておいしかったです。長ネギは細いけれど柔らかく全部食べられて美味しかったです。
- ・今日は冬至ということでカボチャたっぷりのほうとうにサトイモと長ネギを入れました。トロトロに柔らかく煮えてとっても美味しくいただきました。子供たちも「サトイモ大好き!たくさん入れて!」と大好評でした。秋ジャガイモはホワイトシチューに、小さいのは皮のまま丸ごと煮ましたがホクホクで美味しかったです。
- ・ジャガイモは大好きなので天ぷらにしたり、コロッケ、カレーにしたり・他の野菜は 色々な料理に使わせてもらいました。「幼稚園で作ったんだよ!」と嬉しそうに家族に話していました。
- ・長ネギ、サトイモ、ジャガイモ、一緒に煮ものにして食べました。美味しかったです。
- ・お雑煮にして食べました。美味しかったです。
- ・あまり野菜を食べない子供たちですが、細かく刻んでお好み焼きに入れて出したら食べました。ポップコーンは市販のものより味が濃くて美味しかったです。あっという間に完食しました。
- ・いつも色々な野菜を育ててくださり、感謝しながらおいしく食べさせてもらっています。ジャガイモは柔らかくてクリーミーでピーツと一緒にカレーにしました。赤いカレーになりましたが美味しかったです。



*** 冬の間、卒園式に飾るパンジーの鉢のお世話、ありがとうございました。保護者の皆さんからの感想です。**

- ・毎朝霜がおりてしわしわになっているような気がするのですが、枯れないように、と緊張感を持って育てさせていただきました。何とか卒園式まで持ってくれば…
- ・毎日ひいおばあちゃんと水くれを一緒にやっていました。きれいに花が咲いているのを見てとてもうれしいです。
- ・パンジーの花で押し花にして、初めてできれいでした。
- ・3日に一度水やりをしました。……だんだん元気がなくなってきたかも……
(パンジーの写真も付けてくれました。)

<1月>ピジョっこフォト

<無観客コマ回し大会>



コマ回し練習

やったー！靴箱の上で回せたー！



よく回っています



さくら組



にじ組全員合格。最後にみんなで回しました。



平日、にじ組がさくら組に回し方を教えました



名人！かっこいいー！！



まゆ玉の請れに

ついて話します



団子の赤色はテーブルビードで着けました



団子に丸めます



窯で蒸します。



枝に挿し五穀豊穡をお願いします



見ながらお弁当を食べました



冬休みのお手伝い報告

冬休みのお手伝い(冬休みの宿題)報告を書いてもらいました。いろいろなお手伝いをしてくれました。



雲梯



氷屋さん？

<未就園児体験>



ひよこ組



"クルクルたこ" たのしー！

<大寒の朝の厚い氷>

この氷、ピジョっこにのせてくださーい！



保育後、次の活動の準備をします

何になるかお楽しみ



防犯教室



避難訓練「お・か・し・も・ち」



ここはどこでしょう？クイズはお休みします

幼稚園のホームページが新しくなりました。まだ検索サイトからは出にくいので、URLを入力するか横のQRコードを読み込んでご覧ください。https://hatoyama-yochien.edumap.jp



12月号「ここはどこでしょう」

<クイズ解答>

牛舎の脇の道から農村公園へ入っていくところ(名称は?)





たくさんあそぼう！

さくらぐみだより



「じゃあ、カップがいるね！」



さくら組担任 田畑瞳

「先生、一緒にどろだんご作ろう！」とAちゃんが言いました。Aちゃんとどろだんごを作っていると、B君、C君、D君も「僕も作る！」とやってきました。「どうやって作るの？」とB君が聞きました。教師は「少し、水を入れたほうがいいのかもしいね。」と答えると、B君は「じゃあ！カップがいるね！」と必要なものを考えました。その言葉を受けて、C君が「じゃあ、探してこよう！」と言って二人で走り出して行きました。山崎先生にカップの場所を聞き、「先生！あったよ！」と水を入れてやる気満々で戻ってくると、「行くよ！」と土に水をかけました。待っていたD君はスコップで混ぜ、みんなで「わーどろどろだー！」とどろだんご作りが始まりました。



帰りの時間に「どろきょうりゅう」という絵本を読みました。この絵本をきっかけに、Aちゃんはどろだんごを作ってみたくなったようでした。Aちゃんと教師が作っているのを見て、B君やC君、周りの友達も興味をもって一緒に作るようになりました。この場面では、B君とC君が教師に必要なものを聞き、自分たちで用意する姿そして、D君は友達と一緒にどろだんごを作るために混ぜる役割をする姿が見られました。だんだんと自分たちで遊びを進めていこうとする姿や友達同士で遊びを楽しもうとする姿が見られるようになってきました。年少組での遊びや友達や教師との関わり合いを大切にしていきながら、年長組への期待をもって過ごしていきたいと思えます。

にじいろ

「やる気持ちを満たんにして」

にじ組担任 窪田幸恵



コマ回しの練習をしている時のことです。A君とB君が同時にコマを投げました。A君のコマは回りましたが、B君は回らず、「どうして…。」と怒り出しました。するとA君がB君に、「やる気持ちが半分しかないから、それを満タンにしてやればいいんだよ。」と言いました。B君は「やってるよ！」と答えます。A君は「あきらめないで、やる気持ちをたくさん合わせてやれば、できるようになるよ。」ともう一度声を掛けました。失敗するたびに「やりたくない。」と言っていたB君でしたが「わかったよ、もう1回やってみるよ。」と言って、もう一度コマの紐を巻き始めました。



B君に声を掛けてくれたA君も、最初は上手く回せずに、悔し涙を流していました。「もういい、やらない。」と悲しそうなA君に、周りの友達が「頑張ってやればできるよ。」と声を掛けたり、「あきらめないでやってみよう。」と担任が励ましたりするなか、コマが回せるようになったA君。B君の『頑張っているのに、できないのならもうやりたくない』という心の葛藤を、以前の自分に重ねて声を掛けてくれました。B君は、A君に『やる気持ちを満タンにして』と励ましてもらい、その後、何度も挑戦することができました。コマ回しは、個人で挑戦する遊びですが、試行錯誤を繰り返し、回せるようになるまでの大変さを一人一人が同じように経験していることから、頑張っている友達の気持ちがわかり、励まし合ったり、アドバイスをしたり、友達が回せた時に自分のことのように喜んだりする姿がたくさん見られました。コマ回しの経験を通して、にじ組の皆の心が一回り大きくなったように感じられました。